

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策において、災害の種類・季節・時間帯等、様々な可能性を考慮して対策と準備を行ってきたつもりであったが、今回の清水区断水被害を通じ、想定の甘さ、備蓄や準備の不十分さ。そして実際の災害時の相互扶助の重要性を痛感させられた。	現状の備蓄等では対応しきれない状況にも、今後は対処していけるよう準備していく。	飲食の為の備蓄の充実は勿論のこと、今回の災害で実感した生活用水用のタンクや防災用具まで含めて、改めて十分な準備と必要時に他施設や近隣等への応援の為の余力も考慮していく。 向かいに新築され、12月から供用が始まる自上記の様に、目前に新しい自治会館が出来ることもあり、飲食や接近は出来ないまでも、連動した防災訓練等の試みを計画したり、施設内で作った何らかの作品を通じての交流等へ取り組んでいきたい。	12ヶ月
2	2	コロナ禍の影響により、以前は大いに行っていた、自治会をはじめとした地域との密な関係性が途絶えてしまっている。 少し回復の兆しが見え始めても、その都度感染の再拡大等で途絶えてしまう。	現状で行い得る形での、地域との交流を形成する。		6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。